



20240718

校長の戯言 月 No.10 月

SEISHUKAN あ・ら・かると

鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優



■川内ロータリークラブ奨学金贈呈式

7月9日(火)に川内ロータリークラブから薩摩川内市内四校の高校生に対して、奨学金が贈呈された。その贈呈式に本校からはビジネス会計科3年の富永明愛さんが校内選考で選抜され、保護者同席のもと、出席した。彼女は天真爛漫で、とても明るく、頑張り屋である。彼女の将来の夢は、鹿児島県の短期大学に進学し、銀行に勤務することだ。



彼女と話をすることで、なぜ銀行に勤めたいかという問いに「だって、銀行はつぶれないでしょう。」と素直な意見に感動すら覚えた。友人も多く、おしゃべり好きな彼女はおしゃべりのネタをネットニュースや SNS で情報収集している。そんな彼女の今後の活躍を期待したい。



◆4高校生に奨学金 川内ロータリークラブ(稲留孝男会長)は9日、薩摩川内市内4高校の生徒各1人に贈った。1984年から続ける青少年育成事業。例会で贈呈式があり、生徒が日頃努力していることや将来の夢を発表。川内高3年の本蔵一帆さんは「目標の大学進学に向けて、オープンキャンパスへ行く費用などに充てたい」と語った。ほか3校は川内商工、れいめい、川薩清修館。

■自習監督で特別授業を実施



本校の音楽は近隣の高校から兼務で授業に来ていただいている。この日は本務校の学校行事のため、本校の音楽は自習となった。一学期最後の授業であったため、私が特別授業を実施した。M. ムソルグスキー作曲(M. ラヴェル編曲)の「展覧会の絵」の鑑賞授業である。今日は8枚の絵を抜粋で鑑賞させ、タイトルも伏せたまま、イメージしたとおりの絵をかかせてみた。とても素晴らしい感性のイメージで素敵な作品が沢山あった。中でも第二曲の「古城」では、「まぼろしの城」というタイトルの絵があり、音楽の魅力と生徒の素晴らしい感性を再発見できた。



今日8枚の絵を抜粋で鑑賞させ、タイトルも伏せたまま、イメージしたとおりの絵をかかせてみた。とても素晴らしい感性のイメージで素敵な作品が沢山あった。中でも第二曲の「古城」では、「まぼろしの城」というタイトルの絵があり、音楽の魅力と生徒の素晴らしい感性を再発見できた。

■クラスマッチで盛り上がる

一学期最後の行事として、クラスマッチが行われた。バレーボールは暑い体育館で白熱の戦いが見られた。本校のクラスマッチの特長のひとつとして、室内ゲームもある。職員も加わり、オセロやトランプなど対等にゲームを楽しんでいる姿がとても微笑ましかった。

